

第2章 世界規模で見る国際会議の動向

	本節で使用する「UIA 国際会議統計」について	14 頁
1	大陸別 国際会議の開催状況	15 頁
2	国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	16 頁
3	国・地域別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	17 頁
4	都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	18 頁
5	都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	19 頁

	本節で使用する「ICCA 国際会議統計」について	20 頁
6	大陸別 国際会議の開催状況	21 頁
7	国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	22 頁
8	国・地域別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	23 頁
9	都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	24 頁
10	都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	25 頁

本章で使用する「UIA 国際会議統計」について

本節は、UIA（国際団体連合：Union of International Associations）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【UIA 国際会議統計の選定基準】

UIA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が UIA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 国際機関・国際団体（UIA に登録されている機関・団体）の本部が主催又は後援した会議
- ① 参加者数 50 名以上
 - ② 参加国数 開催国を含む3カ国以上
 - ③ 開催期間 1日以上

※但し、主催者が国際機関・国際団体であるか否かについては、組織の目的、会員、活動内容等の情報を総合的に勘案し、UIA が判断します。また、主催者が「国際機関・国際団体」でないと判断された場合でも、会議名、展示会併設の有無、事務局の有無等の情報を総合的に勘案し、(1) に該当する国際会議とみなされる場合もあることが判明しています。

又は

- (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議
- ① 参加者数 300 名以上（うち 40%以上が主催国以外の参加者）
 - ② 参加国数 開催国を含む5カ国以上
 - ③ 開催期間 3日以上

UIAでは、当該年の国際会議統計の発表後も、随時、情報の更新・修正を行っており、公表数値は「暫定値」としてとしています。ただし、修正後の数値が全て公開されているわけではないことから、本章では、UIAが各当該年に発表した「暫定値」を継続して掲載しています。

UIA（国際団体連合：Union of International Associations）

UIA は、1907 年にベルギー・ブリュッセルで設立された非営利・非政府の団体。6万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、「UIA 国際会議統計」を毎年6月に発表している。

1

大陸別 国際会議の開催状況

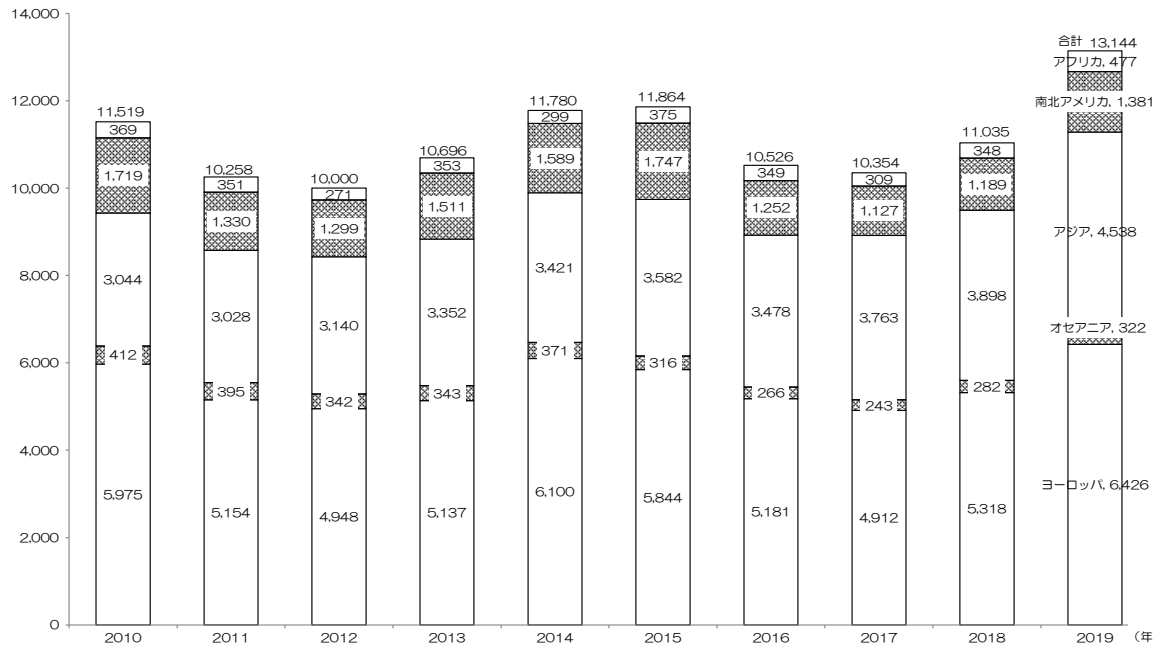
— 開催件数は各大陸とも増加し、前年比 19.1%増 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2019 年の国際会議開催件数は前年比 19.1%増の 13,144 件であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1 位ヨーロッパ(6,426 件、48.9%)、2 位アジア(4,538 件、34.5%)、

3 位南北アメリカ (1,381 件、10.5%)、4 位アフリカ (477 件、3.6%)、5 位オセアニア (322 件、2.4%) の順で、各大陸とも開催件数が増えた。

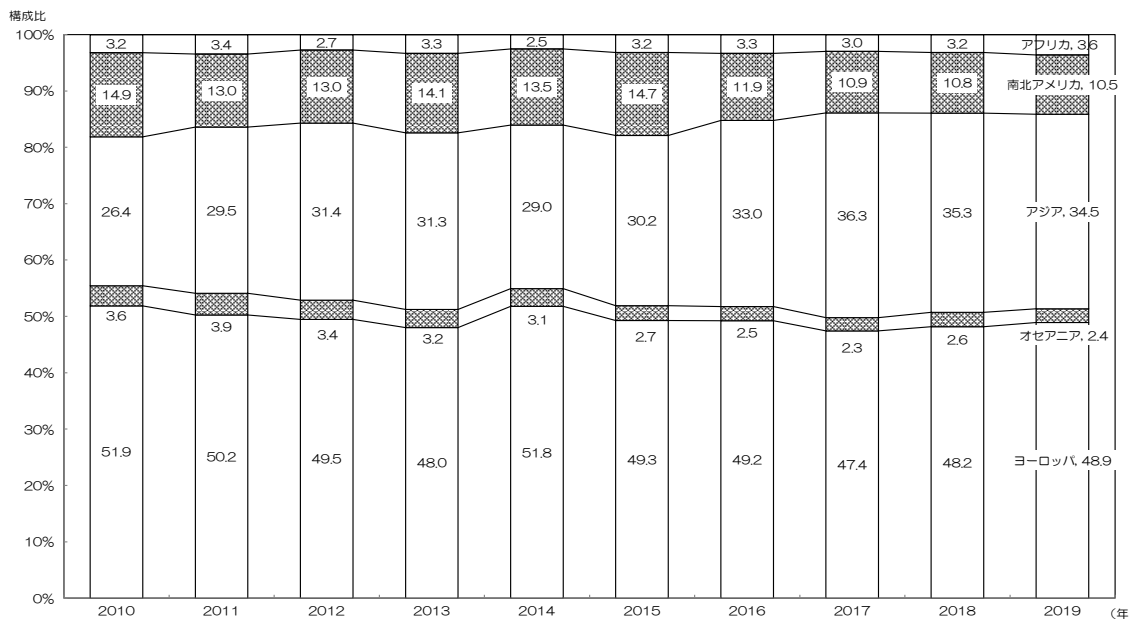
図表 2-1 大陸別 国際会議の開催件数 (2010 年~2019 年)



注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」及び UIA の地域別区分に基づき JNTO が算出した。
 注：図表 2-1 の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。同一の国際会議が異なる大陸で開催された場合は、該当する大陸ごとにそれぞれ計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

図表 2-2 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2010 年~2019 年)



注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」及び UIA の地域別区分に基づき JNTO が算出した。
 注：図表 2-2 の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも 100 にならない。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

2

国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

— 日本は世界第5位を堅持 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2019年の国際会議開催件数（上位30位）を国別で見ると、1位シンガポール（1,205件）、2位韓国（1,113件）、3位ベルギー（1,094件）、4位アメリカ（750件）、5位日本（719

件）と続き、6割以上を欧米が占める中、日本は昨年と同様5位となった。また、5位以内にランクインしたアジア3か国のうち日本と韓国は件数を大幅に増やし、日本は前年比20%超となった。

図表2-3 国・地域別 国際会議の開催件数（世界全体）（2010年～2019年）〈2019年上位30位を抜粋〉

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
シンガポール	725	919	952	994	850	736	888	877	1,238	1,205
韓国	464	469	563	635	636	891	997	1,297	890	1,113
ベルギー	597	533	597	505	851	737	953	810	857	1,094
アメリカ	936	744	658	799	858	929	702	575	616	750
日本	741	598	731	588	625	634	523	523	597	719
フランス	686	557	494	408	561	590	523	422	465	665
スペイン	572	386	449	505	513	480	423	440	456	531
イギリス	375	293	272	349	355	354	266	307	333	418
ドイツ	499	421	373	428	439	472	390	374	305	418
オーストリア	362	390	458	398	539	383	404	591	488	417
タイ	82	126	89	84	280	300	279	312	185	345
オランダ	329	299	177	282	350	340	332	218	286	316
フィンランド	152	159	160	164	169	156	166	151	174	314
イタリア	357	269	262	294	330	385	183	163	236	268
カナダ	221	186	228	213	228	285	165	242	262	265
ポルトガル	145	160	142	136	150	204	189	181	187	258
スイス	322	219	166	216	328	258	234	228	210	249
オーストラリア	356	329	287	283	287	253	197	183	222	247
ノルウェー	172	169	164	172	149	164	135	132	191	243
スウェーデン	161	161	165	118	189	129	152	152	165	201
中国（香港、マカオ除く）	236	200	155	210	193	144	131	108	132	193
アラブ首長国連邦	85	103	84	99	153	157	185	197	170	180
デンマーク	130	126	175	98	142	151	134	154	147	133
インドネシア	48	53	47	85	61	71	54	40	70	104
ポーランド	74	114	63	118	94	119	81	52	80	103
南アフリカ共和国	67	91	78	114	104	111	134	80	64	101
ギリシャ	92	70	64	84	79	82	58	44	67	89
インド	164	103	90	87	79	88	72	71	80	87
マレーシア	100	125	141	137	103	204	98	90	172	86
チェコ	82	65	67	96	79	89	56	60	135	81

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

3

国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は 122 件増で第3位 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2019 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、1 位シンガポール(1,205 件)、2 位韓国(1,113 件)、3 位日本(719 件)の順となり、日本は対前年 122 件増であった。

日本の他に前年に比べて国際会議開催件数が増えた上位国は、韓国(223 件増)、タイ(160 件増)、中国(香港、マカオ除く)(61 件増)、オーストラリア(25 件増)で、減った上位国は、マレーシア(86 件減)、シンガポール(33 件減)であった。

図表 2-4 国・地域別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2010 年~2019 年) (2019 年開催件数 10 件以上を抜粋)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
シンガポール	725	919	952	994	850	736	888	877	1,238	1,205
韓国	464	469	563	635	636	891	997	1,297	890	1,113
日本	741	598	731	588	625	634	523	523	597	719
タイ	82	126	89	84	280	300	279	312	185	345
オーストラリア	356	329	287	283	287	253	197	183	222	247
中国(香港、マカオ除く)	236	200	155	210	193	144	131	108	132	193
アラブ首長国連邦	-	-	-	-	-	-	-	-	170	180
インドネシア	48	53	47	85	61	71	54	40	70	104
インド	164	103	90	87	79	88	72	71	80	87
マレーシア	100	125	141	137	103	204	98	90	172	86
フィリピン	41	39	24	44	34	49	26	34	59	64
ベトナム	44	17	31	32	25	26	10	15	39	61
台湾	67	54	44	58	57	43	32	30	32	55
ニュージーランド	38	37	34	32	55	35	47	37	39	54
香港	54	46	62	112	41	49	67	39	38	42
ミャンマー	2	5	1	5	92	10	2	3	22	34
カンボジア	4	6	9	4	8	14	4	3	15	29
ラオス	2	2	3	3	9	1	0	0	13	27
イスラエル	-	-	-	-	-	-	-	-	18	26
ブルネイ	10	3	6	3	5	6	0	0	13	24
カザフスタン	-	-	-	-	-	-	-	-	6	15
レバノン	-	-	-	-	-	-	-	-	4	15
サウジアラビア	-	-	-	-	-	-	-	-	10	13
クウェート	-	-	-	-	-	-	-	-	5	12
ヨルダン	-	-	-	-	-	-	-	-	17	10
フィジー共和国	-	-	-	-	-	-	-	-	6	10

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及び UIA の地域別区分を採用した。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

4

都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

— 京都がランクアップ —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2019 年の国際会議開催件数を都市別で昨年と比較して見ると、大幅に増加している都市は、ブリュッセル (229 件増)、ソウル (170 件増)、パリ (145 件増) となっている。

また、減少している都市としては、ウィーン (79 件減)、シンガポール (33 件減) となっている。日本の都市では、東京 (305 件) と京都 (81 件) が上位 30 位にランクインした。

図表 2-5 都市別 国際会議の開催件数 (世界全体) (2010 年~2019 年) (2019 年上位 30 位を抜粋)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
シンガポール	725	919	952	994	850	736	888	877	1238	1205
ブリュッセル	486	464	547	436	787	665	906	763	734	963
ソウル	201	232	253	242	249	494	526	688	439	609
パリ	394	336	276	180	325	362	342	268	260	405
ウィーン	257	286	326	318	396	308	304	515	404	325
東京	190	153	225	228	228	249	225	269	325	305
バンコク	61	88	65	55	189	242	211	232	121	293
ロンドン	164	105	119	144	125	126	98	166	186	217
マドリッド	175	116	149	165	200	140	159	159	201	215
リスボン	91	96	93	72	106	147	142	135	146	204
ベルリン	165	149	89	89	167	215	197	198	131	192
ヘルシンキ	73	70	102	84	102	90	121	108	128	187
ジュネーブ	189	121	90	126	173	172	162	158	145	173
釜山	93	82	50	148	132	150	152	212	131	160
バルセロナ	193	150	150	195	193	187	182	193	152	160
ストックホルム	92	109	113	48	112	87	112	113	119	137
モントリオール	77	60	77	82	74	108	71	146	106	127
アムステルダム	131	118	60	114	167	125	155	98	98	123
コペンハーゲン	102	105	150	65	120	117	111	131	130	112
オスロ	64	74	69	87	67	79	59	59	92	104
シドニー	137	103	103	124	120	107	72	76	109	103
濟州島	67	68	78	82	85	112	116	139	76	96
アブダビ	27	26	16	21	15	24	24	75	56	92
ドバイ	56	74	67	75	136	128	158	120	111	84
京都	61	48	84	52	56	56	53	36	58	81
ニューヨーク	127	49	40	52	77	75	68	57	57	79
プラハ	64	54	62	80	65	74	55	54	131	74
アディスアベバ	-	-	-	-	-	-	-	-	17	68
リヨン	52	48	61	55	50	52	46	65	52	64
ワシントン	71	59	41	46	62	66	81	62	39	60

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。
 注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。
 注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

5

都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は大阪と名古屋もランクインして6都市が上位30位入り — 【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2019年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、1位シンガポール(1205件)、2位ソウル(609件)、3位東京(305件)の順であった。

日本の都市では、東京に加え、京都(81件)、横浜(31件)、神戸(24件)並びに昨年はランク外であった名古屋(25件)と大阪(25件)が新たに加わり、計6都市が30位に入った。

図表2-6 都市別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2010年~2019年)〈2019年上位30位を抜粋〉

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
シンガポール	725	919	952	994	850	736	888	877	1238	1,205
ソウル	201	232	253	242	249	494	526	688	439	609
東京	190	153	225	228	228	249	225	269	325	305
バンコク	61	88	65	55	189	242	211	232	121	293
釜山	93	82	50	148	132	150	152	212	131	160
シドニー	137	103	103	124	120	107	72	76	109	103
濟州島	67	68	78	82	85	112	116	139	76	96
アブダビ	-	-	-	-	-	-	-	-	56	92
ドバイ	-	-	-	-	-	-	-	-	111	84
京都	61	48	84	52	56	56	53	36	58	81
仁川	22	24	25	25	30	19	53	66	70	56
クアラルンプール	61	70	88	84	50	140	60	54	96	50
北京	79	90	80	66	73	42	56	30	45	45
メルボルン	92	99	75	73	62	46	36	31	31	42
香港	54	45	62	112	41	49	67	39	38	42
大邱	8	20	25	24	18	14	35	43	37	42
大田	18	10	30	27	30	28	15	27	14	42
上海	63	33	18	57	28	26	27	16	23	41
台北	57	38	36	39	38	35	25	21	22	41
ジャカルタ	10	11	10	14	16	21	8	13	25	39
バリ島	17	28	17	37	21	30	35	14	18	37
マニラ	24	24	15	22	21	35	15	23	38	35
横浜	82	84	80	51	50	31	36	32	28	31
ブリスベン	35	24	38	19	28	20	17	23	23	28
オークランド	15	18	11	17	34	21	25	20	25	26
名古屋	29	32	26	24	28	22	14	14	16	25
大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	13	25
神戸	45	28	38	22	25	35	18	7	21	24
バンドルスリプガワン	-	-	-	-	-	-	-	-	12	23
デリー	57	36	37	30	22	30	26	28	30	23
ピエンチャン	-	-	-	-	-	-	-	-	8	23
ハノイ	24	9	22	18	11	13	4	6	21	23

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及びUIAの地域別区分を採用した。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

本章で使用する「ICCA 国際会議統計」について

本節は、ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【ICCA 国際会議統計の選定基準】

ICCA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が ICCA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 参加者総数：50 名以上
- (2) 開催期間：定期的で開催（1 回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：3 カ国以上で会議のローテーションがある
(2 カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

ICCAでは、当該年の国際会議統計の発表後、随時過去にさかのぼり、会議の情報を収集しています。そのため、国際会議開催件数はいずれの年も「暫定値」であり、「確定値」は存在しません。本節では、2020 年作成時における暫定値を掲載しています。

ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）

ICCA は、1963 年にオランダのアムステルダムで設立された非営利・非政府の団体。約 100 カ国の 1,000 以上の団体からなり、業界の国際的な交流と会員の地位向上を主な目的としている。「ICCA Statistics Report」を毎年発表している。

6

大陸別 国際会議の開催状況

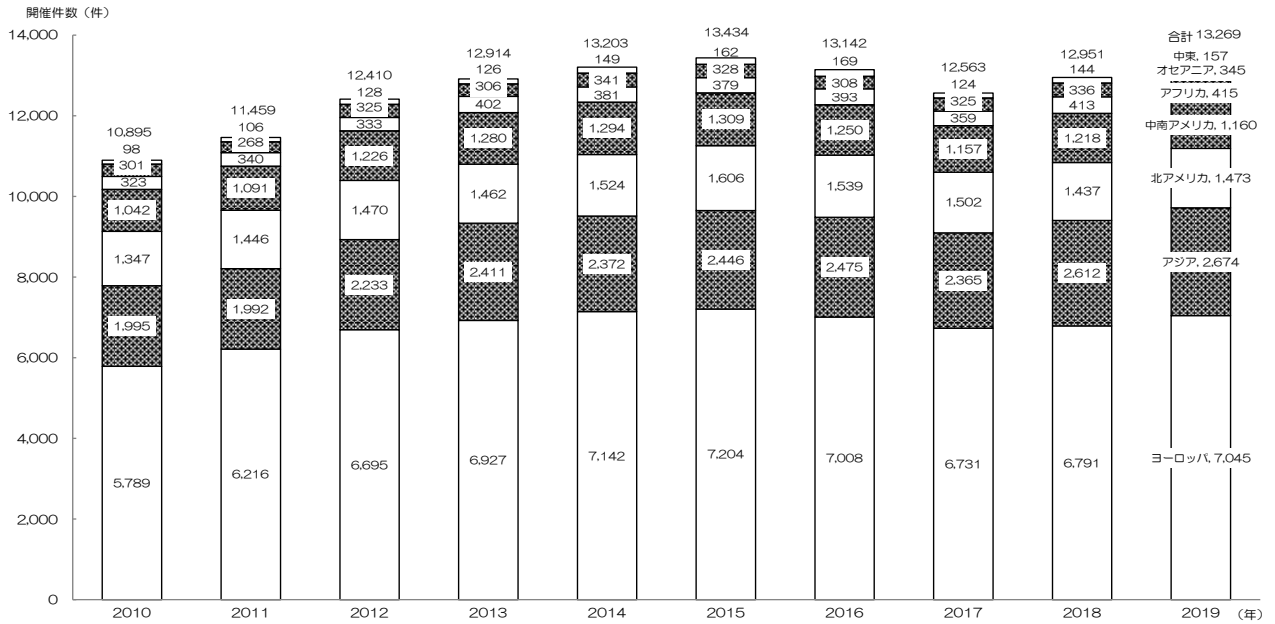
— アジアはシェア2割超を維持—

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2019年の国際会議開催件数は13,269件であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1位ヨーロッパ(7,045件、53.1%)、2位アジア(2,674件、20.2%)、3位北アメリカ

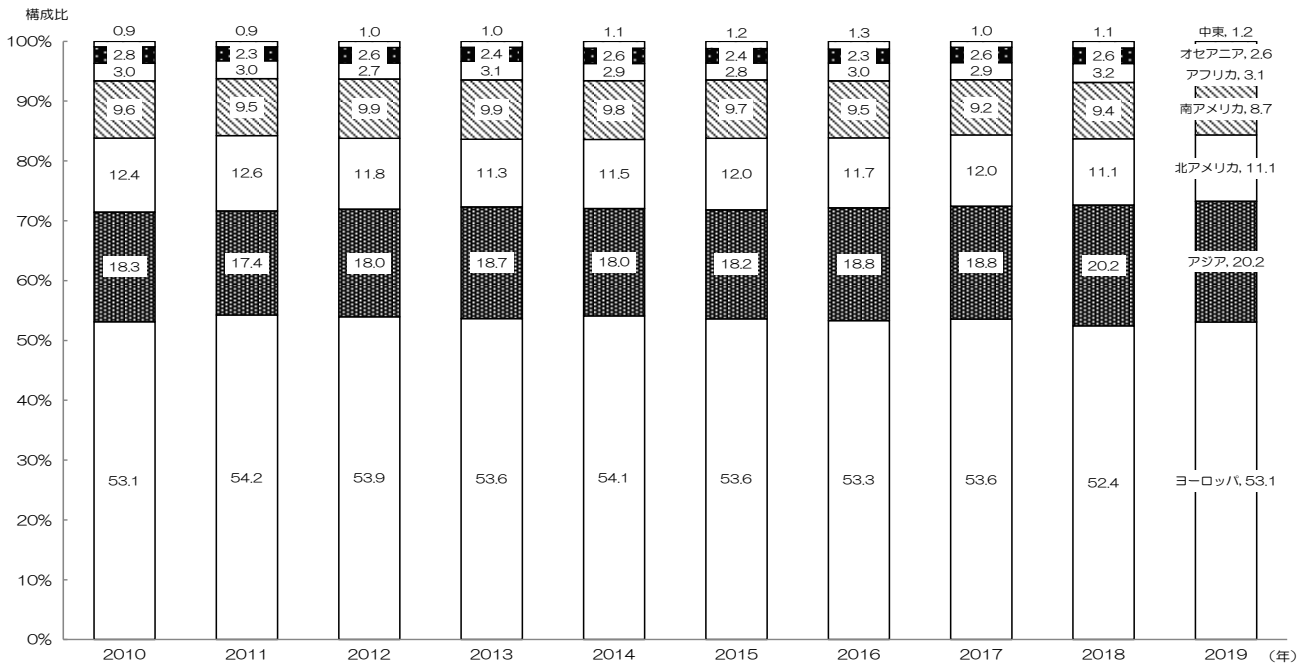
(1,473件、11.1%)の順であり、ヨーロッパの割合が53.1%と過半を占めている。

図表2-7 大陸別 国際会議の開催件数 (2010年~2019年)



出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、ICCA Statistics Report (2018)、「ICCA Statistics Report (2019)」
 注：図表2-7の「アジア」には、ICCAの地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。
 ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

図表2-8 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2010年~2019年)



出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、ICCA Statistics Report (2018)、「ICCA Statistics Report (2019)」
 注：図表2-8の「アジア」には、ICCAの地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。
 注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも100にならない。
 ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

7

国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

— 欧米が上位を独占する中、日本も8位で健闘 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2019年の国際会議開催件数（上位30位）を国別で見ると、上位を欧米が独占しているが、欧米以外では中国に次い

で日本が527件（前年比7.1%増）で世界第8位であった。日本は、過去10年間で最高の件数を記録した。

図表2-9 国・地域別 国際会議の開催件数（世界全体）（2010年～2019年）〈2019年上位30位を抜粋〉

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
アメリカ	888	969	975	960	1,024	1,067	1,022	941	947	934
ドイツ	611	632	692	753	744	725	729	682	642	714
フランス	473	487	553	590	613	584	575	506	579	595
スペイン	505	493	550	535	574	582	575	564	595	578
イギリス	516	511	556	613	629	659	624	592	574	567
イタリア	462	460	486	524	558	570	499	515	522	550
中国（香港、マカオ除く）	391	415	408	465	452	430	463	376	449	539
日本	365	279	373	392	394	401	431	414	492	527
オランダ	234	315	336	327	349	350	389	307	355	356
ポルトガル	210	256	228	267	233	296	311	298	306	342
カナダ	277	282	304	308	289	336	303	360	315	336
オーストラリア	256	211	260	247	287	266	225	258	265	272
韓国	217	237	253	297	273	297	276	279	273	248
ベルギー	221	214	233	253	225	253	219	208	252	237
スウェーデン	225	209	266	251	266	230	273	255	257	237
オーストリア	218	277	273	247	307	265	284	281	240	231
スイス	243	233	243	221	247	210	208	230	208	221
アルゼンチン	197	162	185	203	200	189	195	199	232	214
ポーランド	140	198	171	194	201	216	212	216	211	213
ブラジル	250	285	341	308	294	324	259	237	233	209
デンマーク	155	157	209	187	181	223	188	203	192	202
ギリシャ	140	165	132	119	175	177	172	144	166	202
メキシコ	178	187	183	183	200	199	208	198	172	197
チェコ	142	142	140	170	167	185	165	187	162	171
フィンランド	161	162	176	171	181	156	187	156	140	168
台湾	156	160	153	149	183	150	154	141	173	163
タイ	87	104	158	151	133	165	181	163	193	162
インド	120	130	168	163	138	155	153	175	158	158
コロンビア	97	101	127	133	168	144	160	142	147	154
ノルウェー	131	124	165	138	128	161	152	156	161	151

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、ICCA Statistics Report (2018)、「ICCA Statistics Report (2019)」
注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

8

国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は2位でもシェアを維持 —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2019 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、中国(香港、マカオを除く)(539 件)、日本(527 件)、オーストラリア(272 件)、韓国(248 件)、

台湾(163 件)が上位 5 位を占め、この地域におけるシェアの 6 割近く(57.9%)を占めている。なお、日本は前年の首位から 2 位になったものの 3 位以下を大きく引き離しつつシェアを維持した。

図表 2-10 国・地域別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2010 年～2019 年)(2019 年開催件数 10 件以上を抜粋)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
中国(香港、マカオ除く)	391	415	408	465	452	430	463	376	449	539
日本	365	279	373	392	394	401	431	414	492	527
オーストラリア	256	211	260	247	287	266	225	258	265	272
韓国	217	237	253	297	273	297	276	279	273	248
台湾	156	160	153	149	183	150	154	141	173	163
タイ	87	104	158	151	133	165	181	163	193	162
インド	120	130	168	163	138	155	153	175	158	158
シンガポール	148	153	150	173	143	160	159	160	145	149
マレーシア	124	126	128	119	151	132	122	112	134	137
インドネシア	84	76	94	123	90	97	102	89	122	95
香港	90	113	104	104	113	132	112	119	129	91
ベトナム	45	31	47	61	58	51	52	64	57	86
フィリピン	49	39	54	57	56	64	69	56	64	71
ニュージーランド	41	54	57	53	47	52	70	55	64	62
マカオ	18	13	14	19	23	25	36	39	39	54
イスラエル	39	29	38	47	32	50	36	37	43	51
スリランカ	13	16	20	21	27	23	25	19	24	22
ネパール	6	9	8	6	9	13	11	15	16	19
バングラデシュ	5	9	9	6	13	7	8	5	10	15
カンボジア	4	7	7	7	12	12	12	14	12	12
アゼルバイジャン	3	3	1	6	14	11	9	10	13	12
パキスタン	1	0	3	6	3	4	4	4	4	11
アルメニア	5	4	3	3	6	10	13	4	5	10

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、ICCA Statistics Report (2018)、「ICCA Statistics Report (2019)」

注：図表 2-10 で取り上げた「アジア」の領域は、ICCA の地域別区分による。

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

9

都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

— 東京がトップ10入り —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2019年の国際会議開催件数を都市別で見ると、上位をヨーロッパの都市が占め、圧倒的な優位を保っているが、ア

シア・オセアニア地域のシェアも拡大した。なお、東京が初めて上位10位に入った。

図表2-11 都市別 国際会議の開催件数（世界全体）（2010年～2019年）〈2019年上位30位を抜粋〉

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
パリ	184	196	217	230	250	206	203	190	212	237
リスボン	102	114	107	129	112	151	151	149	152	190
ベルリン	159	144	167	171	208	199	182	185	162	176
バルセロナ	167	160	161	173	176	182	192	195	163	156
マドリード	98	112	132	145	172	159	153	153	165	154
ウィーン	163	169	180	177	209	180	194	190	172	149
シンガポール	148	153	150	173	143	160	159	160	145	148
ロンドン	135	144	182	200	196	206	166	177	150	143
プラハ	113	112	120	139	127	137	134	151	136	138
東京	87	59	64	94	101	96	102	101	123	131
ブエノスアイレス	121	84	90	107	100	85	108	131	133	127
コペンハーゲン	98	104	148	128	114	153	121	115	120	125
バンコク	49	59	99	99	82	112	123	110	135	124
アムステルダム	101	118	118	122	140	124	154	112	123	120
ソウル	116	113	121	146	132	134	137	142	122	114
ダブリン	66	87	100	125	97	102	122	117	104	109
アテネ	70	69	56	58	95	96	80	76	90	107
ローマ	93	109	115	130	124	105	105	96	93	102
台北	111	104	99	96	115	107	92	76	100	101
シドニー	90	52	89	98	83	92	70	76	87	93
モントリオール	58	62	67	69	55	86	78	96	87	92
香港	90	113	104	104	113	132	112	119	129	91
北京	142	132	134	136	123	113	129	81	93	91
ストックホルム	91	87	126	90	100	92	108	97	103	91
クアラルンプール	-	-	-	-	-	-	-	-	68	91
ブダペスト	94	110	109	102	102	112	114	128	100	90
上海	84	89	74	87	95	68	84	61	82	87
ブリュッセル	102	102	120	120	132	135	108	90	112	86
ヘルシンキ	69	70	103	80	94	82	99	87	71	80
リマ	47	57	55	71	67	80	79	74	67	78

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、ICCA Statistics Report (2018)、「ICCA Statistics Report (2019)」

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

10

都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 札幌が復活のランクイン —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2019年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、日本の都市では東京(131件)、京都(67件)、神戸(35件)、福岡(28件)及び再び札幌(25件)が加わ

り、計5都市が30位に入った。また、東京、京都、神戸はランクアップした。他方、横浜と仙台がランク外となった。

図表2-12 都市別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2010年~2019年) (2019年上位30位を抜粋)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
シンガポール	148	153	150	173	143	160	159	160	145	148
東京	87	59	64	94	101	96	102	101	123	131
バンコク	49	59	99	99	82	112	123	110	135	124
ソウル	116	113	121	146	132	134	137	142	122	114
台北	111	104	99	96	115	107	92	76	100	101
シドニー	90	52	89	98	83	92	70	76	87	93
香港	90	113	104	104	113	132	112	119	129	91
北京	142	132	134	136	123	113	129	81	93	91
クアラルンプール	79	74	84	70	85	78	70	65	68	91
上海	84	89	74	87	95	68	84	61	82	87
京都	43	40	65	48	52	49	58	46	59	67
メルボルン	54	63	57	58	66	53	59	67	66	54
マカオ	18	13	14	19	23	25	36	39	39	54
マニラ	28	30	42	39	36	51	47	42	48	51
バリ島	44	33	56	54	45	44	45	40	40	42
ブリスベン	28	25	37	25	45	31	35	29	33	41
杭州	15	25	23	25	19	35	17	18	28	38
ニューデリー	45	41	53	43	40	45	43	59	43	37
ハノイ	29	6	20	31	24	26	19	18	23	37
神戸	16	16	22	18	15	15	21	10	21	35
成都	-	-	-	-	-	-	-	-	16	33
釜山	19	27	27	30	33	32	32	33	35	31
西安	13	20	18	15	24	14	22	22	27	30
オークランド	14	26	24	20	19	27	33	22	39	29
福岡	19	20	25	14	20	28	24	17	26	28
南京	-	-	-	-	-	-	-	-	20	28
札幌	16	12	18	16	22	18	22	24	20	25
深圳	-	-	-	-	-	-	-	-	12	25
済州島	32	42	40	44	47	45	33	37	40	24
高雄	14	23	18	13	26	14	21	19	18	23
大田	-	-	-	-	-	-	-	-	18	23

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、「ICCA Statistics Report (2018)」、「ICCA Statistics Report (2019)」

注：図表2-12で取り上げた「アジア」の領域は、ICCAの地域別区分による。

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

